

砂川市議会 市民の声だより

Vol.5

平成28年2月

◆発行責任者◆
市民の声(小黑)

【連絡先】TEL 52-6968

◆印 刷◆
(有)アド・ワーズ

議会活動報告 <一般質問より>

小黑 弘の質問

武田 真の質問

【6月議会】

☆市内農業の今後について

農業従事者の高齢化と新規就農者を増やす新しい施策について聞きました。

(答) 農業従事者の高齢化率は58.1%になり、新規就農に対しては受け入れ態勢の強化や農業体験の充実を行なう。

☆空き店舗助成の見直しについて

空き店舗ばかりではなく、対象地域については事務所、家屋を適用させるなど制度の見直しを求めました。

(答) 対象地域の拡大も含め早急に見直す。



☆駅前歩道の通行止めについて

※駅前の道道の歩道については、現在は通行可能になっています。

【9月議会】

☆オアシスパークの有効活用について

スマートインターから中心街を通りオアシスパークへ繋げるためにも管理棟や旧ゴーカート場などの活用を提言しました。

☆飲酒運転撲滅条例(仮称)の制定について

昨年6月6日市内国道で飲酒運転を原因とする重大交通事故が起きました。今後、飲酒運転を撲滅するためにも条例の制定について聞きました。

※砂川市議会は12月議会において、市民の皆さんと共に飲酒運転は絶対に「しない、させない、許さない」という固い意志を持って議員提案により「砂川市飲酒運転撲滅に関する条例」を全会一致で制定し、即日施行しました。



【12月議会】

☆砂川SAスマートインターチェンジの有効活用について

市内経済の活性化に繋げる施策について聞きました。

(答) 昨年8月の開通に合わせ事業を実施。活性化への一定の効果は見られたが、今後も市内に誘導する案内看板の設置など事業を行っていききたい。

☆スパコと地域おこし協力隊について

(答) まちなか集客施設として各種事業に取り組んできた。平成28年4月1日から地域おこし協力隊4名でスパコの運営を行う。

☆旧国家公務員宿舎の購入について

空知太にある昭和58年建築の一棟4戸の施設を1,500万円で購入する予定ですが、その目的とリフォームの費用などを聞きました。

(答) 市内企業に勤務するが、市外に住む方々に市内定住を促す目的で、1戸当たり700万円の改築費を予定。

☆市職員の住居手当のうち自宅に係る

手当(いわゆる持家手当)の支給状況等について

国や道では既に廃止されている持家手当について、砂川市で支給している理由等を聞きました。

(答) 独自の住宅政策の一環として必要と判断してきました。

☆砂川高等学校の生徒への支援策について

間口減少の危機にあった砂川高校の特色を高め、生徒の支援策を充実させる方策を求めました。

(答) 支援策については、学校との協議の中で決めていく。

☆地域医療構想が砂川市立病院の経営に及ぼす影響等について

地域医療構想の策定が本格的に始まりました。どのように策定していくのか聞きました。

(答) 地域の中核病院として地域の実情に基づいたものになるよう検討していく。

☆統一的な基準による地方公会計の整備について

総務省より固定資産台帳の整備と複式簿記を前提とした財務書類の作成が要請されていますが、その対応状況等について聞きました。

(答) 研修会等に担当者が出席し、専門的な知識の習得に努めています。

☆砂川市立病院の経営計画等について

現在、経営計画等は策定されていない状況です。効率的な経営のため必要と考えましたので、策定する予定がないのか確認しました。

(答) 平成28年中に策定予定の病院改革プランを中期計画として位置づけ策定していく。

☆新たな教育委員会制度について

教育委員会制度が大きく変わりました。対応状況について聞きました。

☆情報通信技術(ICT)を活用した小・中学校教育について

タブレット等を活用した先進的な教育が各地で成果を上げていることから、砂川市の対応状況について聞きました。

☆未利用地について

市有地には未利用地が相当数存在します。また、旧豊沼中学校のような老朽化の進んだ建物がそのままの土地もあります。今後の施策について聞きました。

(答) 情報をホームページ等で公開するなど活用に関するアイデアを求める方法も検討したい。また、建物については策定中の公共施設等総合管理計画の中で進めていきたい。



旧豊沼中学校

☆ふるさと納税について

最近、ふるさと納税が話題となっています。

砂川市もふるさと納税が急増していますが、その活用方法等について確認と提案をしました。

(答) 公園施設、小学校遊具、公民館備品、福祉センター備品等に充てている。今後も有効に活用したい。